

システム構築演習 **Web**アプリケーション開発 チーム

チーム名： ほいハワイ

アプリ名: **School Affair Cloud System (SACS)**

メンバー

- 星野シンジ
- 羽石雅彦
- 渡部晨
- 伊藤謙吾
- 池田達樹

目的・解決を目指す問題

- 成績管理の利便性の向上。（定期試験、模試等）統計が取りやすくなる。紙での管理による煩雑さを削減。成績推移等のデータが可視化され、分析しやすくなる。教員の実績もわかりやすい。
- 印刷代の削減。
- スタッフ（先生）の生産性向上。
- 図書館等のアカウントと統合し、管理を統一する。

アプリケーションの仕様

最低限の機能

生徒

- 定期試験の結果、評価を閲覧ができる。
- 模試の成績の閲覧ができる。
- 閲覧するデータは可視化され、ソートしたり、推移を見たりすることができる。
- 自分の出席状況を確認できる。
- クラス、部活、係等の情報を確認できる。
- 授業で出た課題の一覧を閲覧し、提出状況を確認できる。

教員

- 生徒の基本情報を閲覧できる。
- 生徒の成績、評価等を可視化でき、ソートなどもできる。
- 生徒に対して、課題を出すことができる。
- 生徒の成績入力ができる。

管理者

- 生徒・教員のアカウントを作成できる。

発展的な機能

- 図書館のアカウントとの連携（貸し出し状況等が生徒から閲覧できる。）
- 意見箱機能（匿名制）

画面遷移・シナリオ

最初に、サイトにアクセスすると、ログイン画面になる。

ログインをすると、生徒用、教師用、管理者用のうち、アカウントに対応したページに遷移する。 ページの大まかな構造としては、左側にメニューが並んでおり、どれかを押すと、右側の内容が変わる。（この際にページロードはせず、javascriptでページを変える。）

作業分担

作業名	主担当者	補助担当者A	補助担当者B
クライアント側	星野シンジ	渡部晨	
サーバ側	伊藤謙吾	羽石雅彦	池田達樹

開発スケジュール

クライアント側:

以下のようなスケジュールで開発を進める。

- 12/21(金): 管理者用、教師用、生徒用の順に、一通りページを作成する。管理者用から先にやるのは、デバッグがしやすくなるからである。
- 01/08(火): 見た目の改善。

これ以降は、適宜サーバ側と話し合いながら、改善をしていく。

- 01/29(火): 完成。

サーバ側:

以下の順序で、開発を進める。

- 12/14(金): ログイン機構を実装する。
- 12/21(金): 学校のテスト、成績のデータ構造を作る。
- 01/08(火): クライアント側の問い合わせに対応を実装。

これ以降は、クライアント側チームと話し合いながら拡張機能の開発。

- 01/29(金) 図書館貸出システム等の拡張機能。

発表準備：

- 01/29(火)-02/01(金): 発表準備。